

公費での飲食

海外研修は控えよ

質問

平成19年5月に愛西市親水公園で、半日の会議でありながら、総費用260万円の市長会議が開催された。夜の宴会など飲食費が約100万円、土産代が17万円、会議機のリース代が68万円と豪華な会議だった。官官接待や食糧費には市民の厳しい目があるにもかかわらず、市長会はこのような会議を年2回も開いている。

市長

市長会の行事には、何ら問題は無いと思っている。

質問

社会常識からかけ離れた会議だ。市長にはその認識はないのか。

市長

できるだけ市内を利用し、夜の食事も地元のお店を活用した。市長会の方の中で運営したので、これ以上の答弁は差し控えたい。

質問

市長会では、市長だけでな



吉川三津子 議員

く、教育長や職員も順次海外研修に行っている。海外研修についても社会的批判が高い行く意味はどこにあるのか。是非について市長の考えは。

市長

議員も行政視察(国内)をしている。必要な場合はよいという判断である。

質問

今年度の市長会の海外研修は、新聞報道でも批判されている。市長会議のあり方も含め改善されるべき。市長は、こうした課題に対して市長会へ意見を言う考えはあるか。

市長

一連の報道で市長会も内容を把握しているので、検討されると判断している。

ハコモノから

福祉優先への転換を

質問

急激な不景気で、60才以降の方やパートの方、母子家庭への影響は大きい。子どもたちが学業を続けられるかという心配もある。そうした中、多くの自治体で大型公共事業の凍結を決定しているが、市長選を前に、市長はどのような方針を市民に示すのか。

市長

合併特例債は、斎場の総事業費を30億円とすると、市の負担は約11億円。有利な合併

特例債を使えるのはあと7年間なので、今の内容を進める。

質問

総事業費が10億円なら、市の負担は3〜4億円となる。愛西市の高齢化率は県下の市で4番目に高く、生産者人口の減少、75才以上の人口も急増する。有利な借金とはいえず、最小限に止めるべきでは。

市長

セレモニーホール併設、炉の数など変更の考えはない。

